



## ARCHITECTURE REVIEW



### 建築見て歩記 その89

岡山県の山間部にある「奈義町現代美術館」…1994年に磯崎新の設計でオープンしました。[第3世代の美術館]というコンセプトで、3つの特徴的な形態 [立方体][三日月形][円筒形]のそれぞれに、3人のアーティストの作品を恒久展示しています。作品名も、大地・月・太陽と命名され、建築とアートの融合を試みた、野心的な建築になっています。

## CURRENTLY WORKS



### 調剤薬局のロゴデザイン

建築およびインテリアデザインは、隣接するクリニックの設計者に委ねられましたが、ロゴのデザインを依頼されました。屋号は決まっておリマークとオリジナルフォントのロゴをデザインした上で、カラーリングまでを担当しました。左のグラフィックは合わせて依頼されたデジタルサイネージのトップページです。このような依頼も数多くいただきます。

## PRIVATE TOPICS



### 太田のアート探訪記 その21

上段でご紹介した「奈義町現代美術館」の収蔵作品で、「太陽一偏在の場・奈義の竜安寺・建築する身体」です。荒川修作+マドリン・ギンズの作で竜安寺の石庭が、円筒形の両側面に湾曲しながら張りついています。この円筒形は傾斜しており、床も傾いています。そこにはシーソーが設置され、さらに天井にも…荒川らしい「身体感覚」「反転」をテーマとした作品です。

## EDITORIAL NOTE

「紅白歌合戦」…1945年にラジオ放送され、1951年に復活し、1953年からテレビ放送が始まりました。テレビの普及とともに視聴率も上がり、1981年までは70～80%でしたが、1985年から70%を切り始め2000年以降は50%台が続いています。それでもお化け番組ですね。皆様、よいお年をお迎えください。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島